



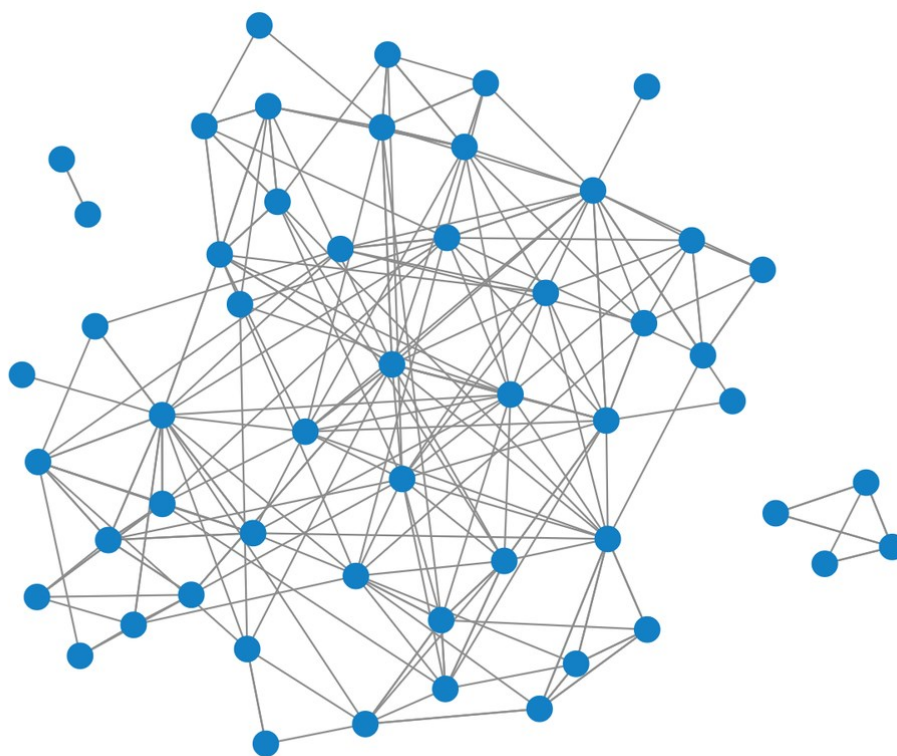
特定非営利活動法人

ワーカーズコレクティブ 千葉県連合会

Tel&Fax 04-7134-0072



## 第24回 通常総会議案書



(日時) 2023年5月31日(水) 13:00~14:30

(会場) 生活クラブ千葉本部 3Fホール

総会后学習会は、14:40~16:00 ZOOMも可(入室14:35~)

## 総会式次第

1. 開会
2. 理事長挨拶
3. 来賓挨拶
4. 議長選出
5. 書記任命
6. 資格審査
7. 議事審議
8. 新役員挨拶
9. 閉会

## 審議事項

第1号議案	2022年度活動報告
第2号議案	2022年度決算報告 監査報告
第3号議案	第4次中期計画の振り返りと第5次中期計画案
第4号議案	2023年度活動方針（案）
第5号議案	2023年度予算（案）
第6号議案	2023年度理事及び監事選任
第7号議案	第24回通常総会 表決者定数の決定
第8号議案	議案議決効力の発生

## 【2022年度振り返り】

### I. 目指したい方向性

第 4 次中計の 3 年目、下記の項目で取り組みました。（※W.Co は、ワーカーズ・コレクティブの略記）

- 1) 社会ニーズをとらえ地域に必要な事業を興し、協同組合の街づくりに繋がります。
- 2) W.Co の内実を高め、持続可能な経済的事業力と組織力の強化を図り、W.Co の社会化を推進します。
- 3) 広報政策を戦略的に展開し W.Co の社会化を後押しします。
- 4) 生活クラブ千葉グループおよび W.N.J・協同組合陣営との連帯を積極的に進めます。
- 5) 提案力を高めて行政や地縁組織、民間企業、NPO 等との協働・連携を進めます。
- 6) 働く人の協同組合として働く人の労働力が適正に評価される仕組みづくりを進めます。
- 7) 法制化と税と社会保障の一体化に向けて学習します。
- 8) 基金・助成金制度について検討します。
- 9) 連合会 30 周年記念行事を推進します。

### II. 事業計画

※囲み文は、2022 年度事業計画

- 1) 社会ニーズをとらえ、地域に必要な事業を興し、協同組合の街づくりに繋がります。

#### 【設立推進計画】

##### 1. 設立を目指したい事業

- ・柏センター内(あい・惣菜跡)で新規事業の立ち上げを目指します。
- ・少子高齢化に対応した食と地域福祉の両方の観点から新規モデル事業となるように、仕入れ・製造・加工・物流システムなども総合的に考察して設立を推進します。
- ・市場調査や資金の調達・人材の育成・事業計画など、生活クラブ生協(千葉)とも協議の場を持ちながら、年内での設立と 2023 年 4 月の事業開始を目指します。
- ・若い人の働く場を作り、次世代に運動を繋げます。

##### 2. 新たな分野の調査研究 (前年度より継続)

- ・生活支援総合事業を念頭に、地域ニーズや地域活動の拠点の選定などを調査します。
- ・W.Co の資源を活用した事業展開、既存事業所との連携や複合サービスの創設などを研究します。
- ・W.Co の適正を生かせる地域密着型のサービスや機能などを調査します。

##### 3. 設立の進め方 (前年度より継続)

- ・「地域にあったらいいね」の夢を語りあう場を設定し、多様な社会的起業のアイデアを募り、それぞれの出番と役割を作りながら可能性を追求します。
  - ・W.Co で非営利市民事業を立ち上げることの意義(社会性)や楽しさを伝えながら、対象別・目的別の起業講座を開催します。
  - ・メンバーが主体的に能力や多様性を発揮して一丸となる参加型の組織づくりのワークショップや設立趣意書、事業計画の起し方、会計の学習会など、連合会の講座メニューを増やします。
  - ・モデル地域を選定して、連携事業の実験取り組みを行い、事業化を目指します。
  - ・設立推進計画は、設立支援部で推進します。構成メンバーは、主に専門事業部理事とします。
- 生活クラブ運動からワーコレ運動への機運が高められるように、具体案を提示して虹の街の方針に沿った事業連携の可能性を追求します。

1. 柏センター内(あい・惣菜跡)での新規事業の立ち上げに関して、新しい切り口で人・物・金の流れを作り W.Co の可能性を拓くことをコンセプトに、設立準備会を設置しました。準備会は、設立推進部会の中に置いて生活クラブ千葉生協(柏センター長・事業部長)からもオブザーバー参加を仰いで、情報の提供やアドバイスを受けるなど、全面的な協力を得て現在も協議は継続されています。

新規事業は、食のある居場所づくりを推進・支援するコミュニティーキッチンを目指し、複数のこども食堂や多世代型の居場所をつないで食品の調達や加工や調理・配食を行います。昨年の6月に「食支援活動センター まほろば」の事業名で保健所の許可をとり、今年1月からは非 OCR の共同購入事業を開始しています。現在は、高齢者への見守り配食サービス(生活支援総合事業)の展開に向けて基盤整備を進めています。

2. 就労準備支援事業への参入の機会を模索していましたが、生活クラブ社会福祉法人風の村 しごと・くらし事業部主催の「はたらっく・座間」の講演会(12/12)に参加し、部会で共有しました。

3. 新しい協同組合の街づくりセミナーを開催し、持続可能な経済的事業力と組織力強化について学びました。 第1回 6/1 第2回 7/8 オンライン開催 講師:中小企業診断士 川口佐和子さん

2) W.Co の内実を高め、持続可能な経済的事業力と組織力の強化を図り、W.Co の社会化を推進します。

W.Co が蓄積してきたスキルと実効性をさらにアップするために、経済の担い手としての価値の共有と経済的効果に繋がる研修などを行い、専門部を中心に事業と活動に繋げていきます。異業種の相互連携を進めます。

## 【事業推進計画】

1. 専門性を持たせた事業力を強化します。

### 食部会

「作り手確かな安心素材」「そのひと手間を大切に」「これからもずっと伝えたい味」を守ります。意志ある生産者の思いを共有して生活クラブの消費材を利用し、W.Co の食の商品価値を高めます。

① スピリッツの業務用消費材について、生産者交流会など参加を通じて学習し、理解を深めて利用を高めます。

② 「あい・惣菜柏」の厨房跡を活用するため、生活クラブや W.Co 千葉県連合会と協力していきます。

③ コロナ禍で、食の事業所がどのように連携して活動していけるかを考えます。

④ 生活クラブ事業部や樹と各事業所の情報を共有して話し合い、共に発展できるように努めます。

⑤ 食の共同事業会議の情報を共有し、新規メニューや売れ筋メニューなどの情報交換や理解を深め、事業に役立つようにしていきます。

⑥ 受託部会やくらし文化部などと一緒にできることを話し合い、実現させます。

⑦ 連合会の HP や食の共同会議のブログを活用し、連合会と一緒に実践できる技術を学んで多方面に広報活動を広げていきます。

⑧ With コロナの中でできる大きな規模での料理提供の機会を捉え食のコーディネートに取り組みます。

①メッシーちゃんを活用することはできませんでしたが、のぼり旗を使うことができた事業所は、のぼり旗を活用してアピールにつなげました。

②今年度も、連合会、エリア、他の事業所と連携し「キッチンカーで GO！」の活動で W.Co のアピール

につなげました。

③共同会議の情報を共有しました。リモートで、学習会に参加し、知識と理解を深めました。

④イベントの開催がなく、実践できませんでした。

⑤原価計算学習会を開催し、様々な価格高騰に対応する数字の見直しに繋げることができました。

⑥各事業所、人材の確保に苦戦しています。

⑦全体としては難しかったが、各事業所で工夫し、アピールにつなげました。

※「のり 鶏肉」学習会…消費材仕入れ価格の値上げ、光熱費等の経費増加に伴う事業運営の困難と、どう向き合うかが大変となる一年でした。

## 受託部会

- ① 虹の街の政策に協力し「見守り安心サポート」が実現しました。事業提案活動を積極的に行い、共同購入事業をW.Coが担う意味を再確認し、パートナーシップを強化していきます。
- ② 2022年度は、受託W.Coの経営について、他単協の事例を学習して会議内容を深めていきます。
- ③ 高齢者福祉を中心に、子育て世代を含めた組合員の福祉を充実させる事業づくりを引き続き提案していきます。
- ④ 労働者協同組合法実施年となるため、移行前に法律の実施状況と各W.Coの方針を学習、確認していきます。

①生活クラブ事務局と配送ワーカーズ代表による協議会を開催し(2月)、意志疎通を図りました。福祉部門では、エコロ制度の充実について意見交換しました。配送部門では全通への委託と今後について協議しました。

②デポ一の配送が始まったこともあり、配送ワーカーズとの情報交換、連携も部会で討議しました。新松戸デポ一の配送でみらいとの協業が実現しました。

③提案していた組合員福祉システムの第一歩が「見守り安心サポート」として今年度実現しました。

④労働者協同組合法に則った法人移行について、引き続き受託事業法人で検討を深めました。

⑤去年に引き続き、生活クラブ事務局と配送ワーカーズ代表による協議会を開催し(7月)、意志疎通を図りました。

## くらし文化部

- ① 働き方や福祉に関する事業を紹介する、虹の街とワーカーズが連携する活動に取り組みます。
- ② 介護、子育て、居場所など地域の福祉を担うW.Coとして、自分たちの事業の社会的意義を実感できるよう、また次の世代に引き継げるような学習会を実施します。

①虹の街とワーカーズが連携した企画「はたらこカフェ～自分らしく多様に」を11/16(水)開催し18名が参加(現地10名オンライン8名)しました。一般組合員の参加は4名、佐倉ブロックの役員層からも4名の参加がありました。ワーカーズの働き方を知ってもらうとともに、福祉に関わる事業にも興味を持ってもらう活動ができました。

②部会の中で、WNJ全国会議 in 神奈川自主企画の本田由紀さんの動画を視聴しました。「支援」という言葉の意味を考えさせられました。また、ケアを担うワーカーズ自身も、互いにケアをし合い、助け合う事の大切さを再認識させられるものとなりました。

## 2. 「地域社会への関与」をエリア活動から発信し、W.Co 運動の社会化を推進します。 また、研修を通して人材の育成をすすめます。

### 東葛エリア

- ① 各事業所の活動が見えて事業の参考にできるように、オンラインでの交流を企画します。
- ② W.Co の活動の目的と意義を地域に広める活動を行います。
- ③ エリア会議として事業所間で連携する事業を模索します。

### 京葉エリア

- ① 地域に W.Co をアピールします
- ② はたらこカフェを開催します

### 下総エリア

- ① 関連団体と連携し、復興イベントを木刈デポで開催します。
- ② 環境にやさしい W.Co を目指し、学習会を行います。

### 東葛エリア

①オンラインでの交流会は、企画出来ませんでした。

②各事業所はコロナ禍と人手不足の中、いろいろと工夫を重ねて継続し、また食の事業所は相次ぐ原材料や光熱費などの値上げが続き、それぞれが大変な努力をして事業の継続につなげました。

・2022年11月に生活クラブ柏ブロックや流山のこども食堂(から風流こども食堂)と連携し「キッチンカーでGO!」をおおたかの森デポー駐車場で実施しました。

生活クラブ組合員の協力でたくさんの食材の寄付があり、また風の村「あい・ネット」や「東葛フードバンク」などからの寄付もあって「こども食堂」とフードパントリーを実施する事ができました。

③エリア会議で「キッチンカーでGO!」を主催し各事業所と協力・連携して実施しました。

### 京葉エリア

コロナ禍ではたらこカフェのリアル開催が出来なくなり、オンラインで開催しました。  
選択肢が広がったのは良かったと思います。

### 下総エリア

①コロナ感染の様子を見ながら、オンラインで毎月会議をして、各事業所の活動を確認し、困りごとの解決に努めました。

②各事業所で、ワーカー募集を行ったり、デポーのフロア活動、配達での募集はワーコレを知る機会となりました。地域食堂、子ども食堂の開催で地域の人たちとのコミュニケーションを取った結果、地域の人たちにも理解され、感謝の言葉や寄付が集まっています。

風車・結では、事業所内で、ワーコレの働き方について学習会をしました。

9/14 さくら市民ネットの伊藤さんを講師に環境学習会を開催し、家庭でできる「キエー口」を使う環境にやさしい生ごみ処理の方法の講演に15名の参加がありました。ワーカーズ以外の参加もあり、食の事業所の大量の生ごみの処理には、家庭用のキエー口では無理があることが分かったので、生ごみを出来るだけ出さないようにすることが大切だと思いました。家庭で使用したいという意見もありました。

- ③単年度の目標としていた3・11復興支援を3/25に木刈デポで開催し、高橋徳治商店、高橋英雄氏の講演をオンライン配信しました。

### 3. 業種を超えて連携することで、多様な可能性を追求した事業へ発展します。

昨年引き続き、東葛エリアで業種を超えた連携事業についての実験的取り組みを行います。  
事業の立ち上げや拡大に、業種間・地域間の相互支援のしくみや情報共有を進めます。  
・中間支援組織としての連合会の役割・位置づけについて共通認識を図りながら進めます。

- ・東葛エリアのキッチンカーでGO！こども食堂で異業種連携を模索しました。

### 4. 共同購買事業、福祉事業を連合会事業として位置づけ、コーディネート機能をもって W.Co 事業所をバックアップし、連合会と事業所の事業高伸長へと繋がります。

#### i) 共同購買事業

- ・共同購買事業全般を第5次中期計画策定のなかで検証します。
- ・食の共同事業会議（WNJ,各連合会組織、スピリッツの合同会議）に参加し材の情報共有や事業継続に向けた課題解決について考えるとともに食のW.Coの運動性についても論議を深めていきます。
- ・食の共同事業会議で作成した中期計画を確認して活動していきます。
- ・コロナ禍で食の事業所では厳しい状況が続いて連合会の手数料も減少傾向にあるので、配送ワーカーズの手数料の見直しを検討します。

#### ii) 福祉事業部

- ・エコロ制度3者協議会・各ブロックエコロコーディネーター会議で情報の共有を図ります。
- ・生活支援事業所連絡会（生活支援事業所4事業所とエコロコーディネーター）で情報共有や研修を実施し、ケア者とコーディネーターのスキルアップを図ります。
- ・こども食堂連絡会（こども食堂を開催している4事業所の連絡会）で情報の共有を図ります。
- ・連合会託児システムについて、第5次中期計画策定のなかで、見直しを行います。

#### i) 共同購買事業

- ・共同購買事業の全般を見直しましたが、評価ができていません。
- ・食の共同事業会議（WNJ,各連合会組織、スピリッツの合同会議）で物流会議やセトルルキッチン構想、広報-インスタの導入などを検討しました。
- ・食の共同事業会議で中期計画を確認しました。
- ・手数料については、コロナやウクライナ戦争の影響による物価の高騰が事業の経営を圧迫していることや、次年度から始まるインボイス制度の対応もあり、もう少し時間をかけて検討します。

#### ii) 福祉事業部

- ・エコロ制度3者協議会・各ブロックエコロコーディネーター会議で情報を共有しました。
- ・生活支援事業所連絡会（生活支援事業所4事業所とエコロコーディネーター）にこども食堂事業所連絡会も合同で会議をもって情報の共有を行いました。研修はできませんでしたが、エコ

ロコーディネーターの交代が控えているので、年度をまたいで複数回の研修を開催していきます。

・連合会託児システムについて、第 5 次中期計画策定のなかで見直しを行いました。創生期の結の支援と設立直後のわっふるの託児事業実践につながった、と成果の意義を確認しました。

#### ※W.Co 共済 2022 年度利用状況（統計日：2023 年 4 月 25 日）

##### 1. 加入事業所

	2021 年度期末	2022 年度期末	増減
加入事業所数	11	11	0
加入者数	156	148	△8
期中新規加入者数			6
期中脱退者数			14

##### 2. 2022 年度 給付申請

		申請承認件数
就業中傷害保障	就業中傷害通院保障	8 件
	就業中傷害入院保障	0 件
	就業中傷害手術保障	0 件
	就業中傷害後遺障害保障	0 件
休業保障	就業中傷害休業保障	3 件
	就業外傷害休業保障	2 件
	病気休業保障	58 件
	出産休業保障	1 件
	介護休業保障	0 件
計		72 件

##### 3. 2022 年度給付共済金合計 2,262,910 円

### 3) 広報政策を戦略的に捉えて展開し、W.Co の社会化を後押しします。

1. W.Co の働き方がまだまだ知られていないのは、働く私たちの理解と発信不足なのだと思います。

事業を行っていく中で、時代とともに地域で必要とされることや実現したいことが変わり、W.Co の事業も多様・複合的になっています。発信力を高めるためにも引き続き生協組合員から編集委員を公募し、組合員の目線で取材を行い、わくわ〜く年2回発行に向けて編集を行い、生協組合員に W.Co の働き方を広めます。（今年度は 119 号で受託事業、120 号で食事業の取材を予定しています）

2. 事業の IT 化の学習会を行い、支援していきます。

3. 新たな事業の立ち上げを、広報という側面から応援します。



1. 昨年度に引き続き、新たに虹の街組合員にわくわ〜く編集委員を公募し3名の参加があり、昨年度からの継続3名と編集会議を行い、年2回わくわ〜くの119号(配送ワーカー特集)と120号(食事業所特集)を発行をしました。
2. IT化への学習会実施には至りませんでした。事業所のニーズを聞き取り次年度計画を検討します。
3. 虹の街柏センター内でお惣菜事業が始まろうとしています。コルザやわくわ〜く(HP掲載)で事業の様子を伝えました。

#### 4)生活クラブ千葉グループ、WNJ、協同組合陣営との連携を進めます。

1. 千葉グループと連携して協同組合型地域社会づくりを進めます。
2. WNJと連携して協同組合型地域社会づくりを進めます。
3. 協同組合陣営との連携を進めます。
  - ・生活クラブ千葉グループ協議会への参加
  - ・生活クラブ生協千葉との2者協議への参加
  - ・生活クラブ千葉グループ4者協議会への参加  
(虹の街・風の村・コミュニティケア街ねっと・連合会)安心システム・街の縁側推進室への参加
  - ・つながる経済フォーラムちばへの参加
  - ・協同労働ネットワーク千葉の共同代表へ参加
  - ・WNJ関連 <運営委員会・全国会議実行委員会・支援部会・生活クラブ連合会2者協議>

#### 1. 千葉グループ協議会・グループ安心システム4者懇談会に参加しています。

安心システム推進会議主催の学習会・実践交流会への参加

つながる経済フォーラムちば への参加 7/7 11/12 12/10 3/7

#### 2. WNJと連携して協同組合型地域社会づくりを進めました。

#### 3. 協同労働ネットワークちばと会議を通じて連携を深めました。

他;2022年行政担当者向けの労協法説明会 9/6・7 ういず・紙ふうせんが 事例紹介で登壇。

社会運動 NO443 ワーカーズ・コレクティブの特集に千葉から紙ふうせん・ういずが掲載。

社会運動 NO449 政治の貧困と子ども ういずが掲載。

協同労働入門-地域の課題を解決する新しい働き方 紙ふうせん・ういず 事業所紹介。

#### 5)提案力を高めて行政や地縁組織、民間企業、NPO等とも協働・連携を進めます。

- ・生活クラブ生協千葉やWNJ、協同労働ネットワーク千葉、関東事業団(労協)との連携を深め、意見交換をしながら提案力を高めて行政への提言を行い千葉県域での法制化を推進します。
- ・行政との協働事業や補助金事業も視野に、情報の収集と受け皿の準備を進めます。
- ・持続可能な地域社会の実現に向けて、民間企業、NPO等との事業連携を検討します。

- ・9/6 と 9/7、2 日間かけて県の雇用推進課主催で、県職員を対象にした労協法の説明会が開催され、ワーコレからは紙ふうせんとういずが、ワーカーズコープからも複数団体が参加し、事業の説明をしています。
- ・ういずの休眠預金の助成金事業で始まったこども食堂を対象にした寄付食材の配布や柏市中核支援センターあいねっとからのお米の寄附を、紙ふうせん・回転木馬・風車や流山の風流ダイニングのこども食堂他に配分することで、民間企業や地域との連携ネットワークの構築と資源の循環を行っています。

## 6) 働く人の協同組合として労働が適正に評価される仕組みづくりに取り組みます。

1. 労働力が適正に評価される仕組みづくりを進めるために、運営管理費も含めたトータルコストを見込む事業計画の立て方や自主管理基準について学び合います。

労働者であり出資者・経営者でもある私たち W.Co では、労働力を適正に評価する仕組みづくりを進めるには、まず事業性を高め、持続可能性を担保することが必要不可欠の要素となります。事業の目的や方向性を再度確認し、Plan (計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)の手法で検証しながら事業計画の振り返りを行い、透明性のある効率的な経営について学びあいます。

2. W.Co の働き方の優位性や特異性が実感できる研修や交流会を開催し、ワーコレとワーコレで働くことの意義への理解を深めていきます

・W.Co の「価値と原則」や W.Co の働き方(一人一票の民主的な運営、参加と責任)について理解を深めて組織の民主性とガバナンスを高めます。

・仕事と生活との調和(ワークアンドバランス)が実現でき、柔軟な働き方と生き方や、W.Co の価値を実感できる民主的な組織(意見が反映される、替わりあう、世代交代できる組織)へのステップアップ研修や交流会を開催していきます。

・虹の街組合員のコミュニティ活動や地域活動の経験から W.Co の立ち上げを目指す人が増えていくように、人・モノ・金の総合的、具体的な伴走支援ができるように整備を進めます。

3. 「共に働く」を考えていきます

・他の連合組織の取り組み、千葉県内の生活困窮者支援事業所の取り組みやユニバーサル就労について学習します。

1. 食部会では、人件費の考察や食品ごとの原価率を見直すなどを W.NJ の食の共同事業会議と一緒に学びあい、事業を見直しています。
2. 生活クラブ虹の街の第 13 次中計策定会議に、ワーコレから 3 名が参加し、W.Co の働き方や優位性をアピールできる機会となりました。計画では、ワーコレ運動の推進が具体的な方法論も明記されています。連合会は、全面的に連携協力体制を取り、W.Co の創設に繋がります。
- ・生活クラブ連合会が主催した首都圏 4 単協の講演会。リージョナル連帯経済の学習会で、虹の街専務より千葉における W.Co 運動の歴史と今後の展望について報告がありました。
2. 社会的連帯経済を推進する「つながる経済 in ちば」に参加しています。また、会ではワーコレの特集の冊子を 10 月に発行しています。労協法が後押しになって W.Co をアピールできる機会となりました。
3. 風の村の呼びかけで、ワーコレ協会の「はたらっく座間」の事例と一緒に学習しました。生活困窮者就労準備支援事業の展開を視野に引き続きの情報の収集を行っています。

- ・4 次中期計画の振り返りの中で、連合会託児システムについて、検証する機会を持ち、改めて託児システムが、W.Co で働くの機能を支えるものになっていたことが検証・確認できました。

## 7) 労働者協同組合法と税と社会保障の一体化に向けて学習します。

1. 労働者協同組合法の労働者制を理解し、法制度のもとでの W.Co の働き方を確認していきます。また、企業組合や NPO 法人からの組織変更について学習します。
2. エリア単位での学習会を開催します。
3. 軽減税率やインボイス制度の研修を行います。

### 1. 労働者協同組合法についてエリア会議で学習を進めました。

- ・下総エリアではガイドブックの読み合わせ等の方法で労働者協同組合法について理解を深めました。
- ・WNJ が開催する学習会や研修会等に参加しました。 インスタ学習会 1/19
- ・受託部会でも組織変更について、学習を始めています。

### 2. WNJ 主催のインボイス制度のオンライン学習会 1/30 に参加しました。

## 8) 助成金制度について検討します。

- ・助成金制度について、設立支援部で検討していきます。
- ・前年度に引き続き、コロナの緊急支援金を活用してアフターコロナを見据えた新たな事業の設立や、W.Co の地域連携(異業種連携)の試みを支援します。

- ・長引く新型コロナウイルスの感染拡大で経営難に陥っている事業所の支援を目的に、新しい生活様式に対応した事業展開のために必要な経費や立ち上げ資金の補填を昨年引き続きコロナの緊急支援金を活用して実施しました。

紙ふうせん: 食品乾燥機の購入費 143,000 円、東葛エリア: キッチンカーで GO ! の経費 50,000 円の補填、設立推進部: 新規事業の設立準備(加工室のリフォーム・清掃費用 200,000 円) で申請し、コロナ支援金を活用しました。

## 9) 連合会 30 周年記念事業を推進します。

- 実行委員会(エリア理事+広報理事+事務局)を設置して、30 周年記念事業の企画を検討します。

検討しましたが、コロナ禍で環境が整わず実施には至りませんでした。

### Ⅲ. 組織運営

#### 1) 理事会体制を維持します。

1. 業種ごとの専門部会は、食・受託・くらし文化とします。メンバーは、関連業種ごとで構成します。
2. その他、設立支援部と広報PJを設置します。設立支援部は、専門事業部理事を中心に、広報PJは、公募の編集委員も含めて構成していきます。
3. エリア活動を W.Co の社会化と運動の柱とします。エリアは東葛・京葉・下総で組織します。
4. 労働者協同組合法の学習会は、エリア理事を中心に進めます。

#### 2) 役員体制を維持します。

#### 3) 組織運営強化のための各種研修を実施します。

外部講師の登用だけでなく連合会内の人材を育成し、諸資源の活用システムとします。

#### 4) 各種会議で情報の共有と課題整理から解決に向けての知恵と工夫を共有し組織の活性

#### 1) 理事会体制を維持しました。

1. 業種ごとの専門部会は、食・受託・くらし文化としました。関連業種ごとで構成しました。
2. 設立推進部会とわくわ〜く編集会議を設置しました。設立支援部は、専門事業部理事を中心に、編集会議は、公募の組合員で構成しました。
3. エリア活動を W.Co の社会化と運動の柱とし、東葛・京葉・下総でエリアを組織しました。
4. 労働者協同組合法の学習会は、エリアで学習を進めました。

2) 年度途中で副代表の体調不良により、副代表の代行者(広報理事五十嵐紀子との兼任)を置いて対応しました。

#### 3) 組織運営強化のための研修会を開催しました。

5/26 総会時 池田徹氏講演「千葉の生活クラブ運動とワーカーズ・コレクティブのこれから」

6/1 7/8 新しい協同組合の街づくりセミナー 中小企業診断士;川口佐和子さん

4) 各種会議で情報の共有と課題整理から解決に向けての知恵と工夫を共有し組織の活性化に繋がりました。

### Ⅳ. 事務局計画

事務局体制の拡充を図ります。

- 1) 事務局体制を拡充し連合会の中間支援機能を高めていきます。
- 2) 共同購買事業の業務を遂行します。
- 3) 福祉事業(エコロ・共済・託児)の業務を遂行します。
- 4) ワーコレの社会化を目指し、ワーコレ法学習会やワーコレを広める活動の企画提案、起業講座の開催や講師派遣などを行います。

1)事務局体制を拡充を図り、連合会の中間支援機能を向上に努めました。

2)共同購買事業の業務を遂行しました。

3)福祉事業(エッコロ・共済・託児)の業務を遂行します。

生活支援事業所・こども食堂開催事業所連絡会を年4回開始して、情報の共有と課題の把握と改善に努めました。

4)わくわ〜く編集会議の中で、編集組合員向けに、ワーコレの法学習会を開催し、講師は、配送ワーカーズと食事業所に依頼しました。

119号では、配送事業所から2回、2名の講師。120号では、食の事業所から2枚、2名の講師が登壇しています。

## V. 経営計画

### 1)会費収入

- ① 新規設立による会費収入を高めます。
- ② 既存事業の事業拡大と健全経営を支援することで分配率を高めて会費収入を高めます。

### 2)事業収入

共同購買の利用を促進し事業収入を高めます。

### 3)会計

NPO法人の会計基準を遵守します。

### 1)会費収入

- ① 柏センターの厨房加工室(あい惣菜跡)で新規事業の立ち上げを準備、支援を続けています。
- ② 既存事業の事業拡大と健全経営を支援するように、連合会のコロナ支援金を活用しました。

### 2)事業収入

共同購買の利用促進に努めました。

### 3)会計

NPO法人の会計基準を遵守しました。 1/30 WNJ 主催 インボイス研修に参加